

つむぎ通信

vol.17

在宅連携センター「つむぎ」

TEL/053-451-2807 FAX/053-451-2808

✉soudan@hamamatsucity-medical-co.jp

在宅連携センターつむぎ浜松

検索

在宅連携センターつむぎは、高齢者を支える医療・介護・福祉関係者の相談窓口として、2015年度に開設しました。「つむぎ通信」は2019年度から在宅連携センターつむぎの周知と情報発信のため発行しています。バックナンバーはこちらから → <https://www.hmedc.or.jp/tsumugi/archive/>



つむぎは9年目を迎えました



つむぎは2016年1月に開設し、9年目を迎えています。

昨年度は、COVID-19の影響が薄らぎ、訪問活動を再開することができました。

訪問して地域・施設の事情や課題について意見交換をすることができ、日常が少しずつ戻ってきていることを感じています。今年度も積極的に訪問活動を行う予定です。訪問してもいいよ、というところがあれば声をかけていただくと幸いです。

今年度つむぎは新メンバーで出発です。在宅医療・介護連携における専門知識の提供や地域ケア会議でのアドバイザーなども積極的に行っていきます。

今年度も丁寧に相談対応を行い、皆様と一緒に考えていきたいと思っています。

気軽にご相談いただける窓口として、今年度も活動していきたいと思ひます。

2023年度活動報告

相談支援の実施状況

2023年度は、延べ相談件数1,275件、（実件数374件）の相談に対応しました。（表参照）

表：相談件数（前年度との比較）

年度	2023年度	2022年度
実件数	374	368
延件数	1,275	1,258

図1：相談者（所属機関）

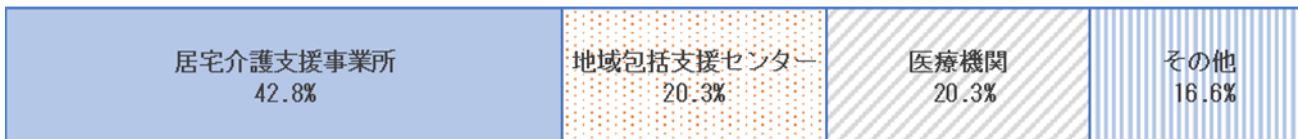


図2：相談内容



ケアマネジメント・介護者に関する相談

その他の主な活動

- ・関係機関（介護老人保健施設・グループホーム）へのアンケート調査（9月）
- ・在宅医との意見交換会（11月）、地域包括ケア病棟意見交換会（7月・1月）
- ・コロナ禍で中断していた、地域包括支援センター、施設への訪問再開 etc.

アンケート調査では、入所条件や医療処置への対応等についてお伺いさせていただき、情報集約を行いました。これらの情報も相談業務に反映させていただいておりますので、必要な場合はご相談ください。

皆さまにご協力いただき、さまざまな活動を行うことができました。ありがとうございました。



相談事例 Q & A ～相談内容を紹介します～

Q → 歯科訪問診査の利用方法を知りたい。(ケアマネジャー)

A → 浜松市口腔保健医療センターへ申し込み後、浜松市歯科医師会が訪問する歯科医師を決定するなど、利用の流れをお伝えした。また、訪問診療と訪問診査の違いについて説明した。

詳細は浜松市歯科医師会のホームページに掲載されています。

<https://hamashi.com/visit/> →→



Q → 難病患者を抱える家族から、患者会などの情報が欲しいと相談があった。難病に関する相談窓口を教えてください。(ケアマネジャー)

A → 浜松市難病相談支援センターと静岡県難病相談支援センターの役割、さらにピアサポーター相談などの情報もお伝えした。

Q → 体調は悪化しているが救急搬送に該当しない方で、本人・家族が施設入所はまだ早いと思っている方の療養型の入院先を知りたい。(地域包括支援センター)

A → 医療療養病床と介護医療院についてお伝えした。医療療養病床は医療区分により利用の可否があることもお伝えした。つむぎのホームページにそれぞれの説明があることをお伝えした。



←← 介護医療院

<https://www.hmedc.or.jp/tsumugi/resource/kaigoiryoy/>

医療療養病床

<https://www.hmedc.or.jp/tsumugi/resource/iryoy/> →→



病院相談員と多職種との意見交換会を実施しました

2月21日、約150名の皆さまにご参加いただき、病院相談員と多職種との意見交換会を「支えよう！つなげよう！ACP」をテーマに、浜北文化センターにて実施しました。

当日は、西脇雅子先生から「市内におけるACPの取り組み～かかりつけ医の立場より～」と題したご講演をいただき、その後「おひとりさまの意思決定を多職種で繋ぐ～リレー報告～」と、病院相談員の方とのグループワークを実施しました。

参加者からは、講演について「先生のACPの取り組みについて、非常に共感する部分多かった」「医師の見方、考え方をわかりやすい言葉での説明で、今後の連携に役立つと思った」などのご意見をいただきました。リレー報告については、「関係機関との連携について勉強になった」「多職種での連携の仕方等見習うことが沢山あった。」などのご意見をいただき、実りのある会であったと思います。

会場設営や時間配分などいくつか不手際もあり、ご参加いただいた皆さまにはご迷惑をおかけしました。本年度も皆様の役に立つような研修を予定しておりますので、ぜひご参加ください。

2024年度 メンバー紹介

今年度のメンバー5名です。

よろしくお願いいたします。

後列 山口(社会福祉士) 鈴木(事務員) 船越(事務員)

前列 センター長 岩瀬(医師) 内山(看護師)

